



佐野短期大学学報

か た く り



ACCREDITED
2012

本学は平成24年度(助)短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。

発行/佐野短期大学 栃木県佐野市高萩町1297 電話 (0283) 21-1200

入学特集号



祝入学



大学の主な行事予定 (春期)

- 4月3日 入学式
- 4日 新1年履修ガイダンス(5日)
- 7日 オリエンテーション(9日)
- 10日 学外合宿研修(11日)
- 14日 春期授業開始
- 5月1日 学園創立記念日
- 12日 介護2年居宅介護実習Ⅱ(7月19日適宜)
- 6月9日 児童2年教育実習(27日)
- 8月6日 夏季休業開始(9月17日)
- 18日 児童2年保育実習Ⅱ・Ⅲ(9月1日)
- 社会2年相談援助実習Ⅱ(9月17日)
- 25日 介護1年基礎実習Ⅰ(9月6日)
- 介護2年施設実習Ⅱ(9月20日)
- 9月1日 栄養2年学外実習(12日)
- 10日 児童2年保育実習Ⅰ(20日)
- 18日 秋期オリエンテーション
- 22日 秋期授業開始
- 27日 秋のスペシャルオープンキャンパス



総合キャリア教育学科 5 期生を迎えて

学 長 こしみず まさる
興水 優

新入生の皆さん、ご入学を心からお慶び申し上げます。本学は平成 2 年に開設されましたので、皆さんが在学中の来年が開学 25 周年となります。この間、本学は時代の流れと社会のニーズの変化に対応し、発展を重ねてきました。現在の総合キャリア教育学科は平成 22 年に 12 の専門フィールドを包括する新たな学科として統合改編されたものです。フィールドとは専攻領域のことで、介護福祉士、保育士、栄養士等の各養成課程も、この総合学科に含まれています。これらの養成課程まで一つの学科に包括する短期大学はめずらしいのですが、その利点は、専攻領域ごとに門を閉ざさず、総合学科ですから、いわば主専攻となるメインユニットだけでなく、サブユニットとの組み合わせや、さらには個別科目の選択も可能なことです。皆さんはそれぞれ履修ガイダンスを受け、自分の好きな科目、得意な分野、関心のある仕事などに応じ、修得したい技能や取得したい資格とリンクするユニット(科目群)を学習内容に選び、自分の適性に合わせた進路の設計ができます。

すでに平成 24 年春には、第 1 期生がこの新学科を巣立ちました。平成 25 年 10 月には、新しい学科に義務づけられた、完成年度における達成度報告に対し、評価機関である短期大学基準協会から適格という認証を受け、短大組織も教育内容も一層の安定感を増しました。いま皆さんを迎え、新鮮な感性と活力がキャンパスに満ちあふれて、本学のさらなる発展に向けた希望と期待を実感できます。開学 25 周年を目前に、皆さんとともに、より充実した短大生活を感じられるよう努めたいと思います。

新入学の皆さんが、これから本学で過ごす 2 年間は、学ぶこと、覚えることが皆さんの考えている以上に多く、忙しい毎日を送ることになります。教室における授業だけでなく、学外実習がかなりのウェイトを占めるフィールドがあります。特に養成課程や教職課程を目指せば、修得すべき単位数を見ると、短大 2 年間で 3 年分にも相当する科目履修が必要となる場合があります。しかし、いつか自身の人生行路を振り返ることがあれば、これからの 2 年間は生涯で最も集中して知識や技能を身につけた時期だとわかることでしょう。短大での 2 年間の蓄積が人生に大きくかかわっていたことに気づくはず。 「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」と、若いうちに勉強に励むことを勧める詩句があります。この 2 年間の短大生活を有意義に過ごしてください。



新入生に贈る言葉

理事長・学園長 浦田 奨

ひときわ厳しかったこの冬の寒さも日に日に和らぎ、キャンパスにも新しい生命の息吹が感じられる今日の佳日、佐野短期大学平成 26 年度の入学式を挙行するにあたり、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りましたことに、衷心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学まことにおめでとうございます。私たち学園関係者一同、皆さんを心より歓迎いたします。

さて本日の入学式は、今日から新たな生活を始める皆さんの 2 年間で実り多きものとなるよう、決意を新たにすることもあります。そこで、これからの学びということについて皆さんにお話し申し上げたいと思います。

現在、グローバル化の中で、大学教育においては教育力向上の必要性がさかんに叫ばれています。TPP 交渉では、多くの品目で関税撤廃が求められ、企業間の国際競争はますます激化することが予測されます。さらにクリミアをめぐる国際情勢は複雑化し、日本経済の先行きにも、いまだ多くの課題が残ります。このような社会状況を背景に、社会に貢献しうる人材を育成するという短期大学の使命は、さらにその重要性を高めています。

そこで、未来の担い手である皆さんに求められる心構えとはどんなものなのか。それは高等学校で学びの中心であった「知識を増やす」という姿勢からいち早く脱却し、「主体的な学び」へと転換を図ることです。

トヨタグループの創始者である豊田佐吉は 1867 年、遠江国の農家に産まれました。幼くして日本の国家的事業を興すという志のもと書籍から貪欲に知識を吸収し、18 歳のときには山口夜学会という勉強会を主催するほどでした。そこでは学友との激論を毎回号泣するほどの勢いで交わし、何かを成し遂げようという熱情はただならないものがあつたと言います。そしてその情熱は途切れることなく、1896 年、日本で最初の動力織機を発明、さらに進化させ、日本の産業界に大きな変革をもたらしました。その後も特許 84 件、外国特許 13 件、実用新案 35 件の発明を成し遂げ、生涯を通して「創造的なものは、完全なる営業的試験を行うにあらざれば、発明の真価を世に問うべからず」という信念のもと、「完全な」製品を目指して研究を続けました。

「人間のやったことは、人間がまだやれることの 100 分の 1 にすぎない」

これは佐吉が自らの仕事に懸命に取り組むことによって得られた考え方をあらわした言葉です。トヨタ自動車は 2014 年 3 月期連結業績予想の営業利益が前期比 81.7% 増となる見通しで、今年の世界販売台数も 3 年連続で過去最高を更新し、1000 万台を突破すると予想されています。多くの日本企業がまだまだ業績不振にあえぐ中、トヨタが常に時代をリードする企業であり続ける理由は、その創始者である佐吉の精神を受け継ぐことに他なりません。

努力を惜しむ人間は、己の能力に自ら限界を定めてしまうものです。佐吉がいくら才能に恵まれていたとしても、すべての研究が難なく成果を取めたものとは考えられません。多くの失敗や挫折をもとめせず、己の才能を信じ、国家の未来に貢献するという情熱を保ち続けたからこそ、世界経済に大きな影響を与える巨大企業グループの創始者となり得たのでしょう。

新入生の皆さん、まずは大きな志を持ってください。そして、己の心の内に耳を傾け、その奥深くに眠る限りない才能に目を向けてください。自らの可能性を強く信じ、高校時代とは異なる「主体的な学び」の実践を重ねることによって、必ず道は拓けるはず。主体的に学ぶ」ということは、知識を知識のままに終わらせず、それをもとにして自分なりに思考し、問題点を見出し、さらに創意工夫を加え改善をはかる努力が必要です。多くの人間は安きに流れ、目標を見失い、毎日を無為に過ごしてしまうものです。しかしこれからの皆さんは、佐吉のように自らの才能が無限であることを信じ、あえて困難を歓迎し、それを克服することで未来の日本を担うにふさわしい人材に成長してください。

本学園は今年、創立 50 周年を迎えます。学生のみならずこの学び舎に集う者すべてが自らの可能性を信じ、無限に進化し続けることを私は確信しています。そのような大きな節目の年に入学する皆さんが若者らしい気概を持ち、震災からの真の復興に向けた国家の原動力となるべく、本学で送る 2 年間とその先にある輝かしい未来を積極的に生き抜くことを期待申し上げ、お祝いし励ましの言葉といたします。

人 事

()は前任

〔新規採用〕

兼任講師	赤石 孝子	植木 秀子
	大塚 智	小山 敦子
	後藤 一美	佐藤由美子
	杉山 智明	谷村 航
	山崎 雅子	頼実 祐子
	石川 博人	池田 和正

事務局長	大橋 渡
栄養助手	澤田 順子
図書館司書	小峯 智子
管理室	阿部 光男

〔任用換え〕(H26.4.1)

特任准教授 伊藤 優子 (兼任講師)

〔昇 格〕(H26.4.1)

准 教 授 藤田 睦 (講師)

〔産 休〕

栄養助手 増山 結子

〔異動・配置転換〕(H26.4.1)

佐野日大高校副校長

乙守 貴正 (事務局長)

学務課職員

駒場 俊太 (学生支援課職員)

学生支援課職員

齋藤 彩 (学務課職員)

〔退 職〕(H26.3.31)

講 師 森田 悠子

兼任講師 飯田 昌男 今井 雄紀

大栗 裕子 河野 克彦

上本 宗唯 中田 裕美

学生支援課主任 野村 陽恵

図書館司書 金澤さとみ

平成26年度 各種委員会委員長

常置委員会

学務委員会	森 千佐子
学生支援委員会	大室 精一
入試・広報委員会	穂積 元
図書学術委員会	稲見 崇司
F D 委員会	藤原 保利

特別委員会

自己点検評価委員会	亀田 和則
教職課程委員会	藤原 保利
キャリア教育委員会	松崎 勇人
S D 委員会	大橋 渡

臨時委員会

危機管理委員会	興水 優
セクハラ調査委員会	和田 晴美
施設設備委員会	大橋 渡
安全衛生委員会	岸 洋一郎

セクハラ相談員

下記の教職員が相談に応じます。相談の内容については秘密を守り、相談者の不利益にならないよう十分に配慮します。お気軽にご相談ください。

立川 聡子、大熊 信成、和田 晴美、
山内 健次、堤 裕美子、高橋登美子、
藤田 睦、中島 佳子、堤崎 真里、
篠崎 文子



学生相談室案内(平成26年度 春期)

I. はじめに

学生相談室では、皆さんが楽しく充実した学生生活を送れるように、いろいろな悩みや心配事を一緒に考え、その解決のお手伝いをしています。

どんな相談事でも構わないので、気軽に訪ねて来て下さい。

心理テストも
できます!

II. 相談内容(秘密は固く守ります)

- ①自分の性格について……性格で悩んでいる・自分のことをもっと知りたい。
- ②対人関係について……友達とうまくいかない・恋人から暴力をふるわれるなど。
- ③大学生活について……サークル活動・各種トラブル・事故など。
- ④経済的なことについて……学費が払えない・奨学金を借りたいなど
- ⑤心身の健康について……やる気がおきない・眠れない・腹痛や頭痛など。
- ⑥将来について……就職・編入学など進路について迷っている。
- ⑦学業について……授業が分からない・休学・退学など。

III. 学生相談室の場所

右記相談室スタッフにお問い合わせ下さい。



IV. 春期の相談室スタッフと開室時間

小竹 仁美 先生 研究室は講義棟 3 階です
(臨床心理士・臨床発達心理士・社会福祉士)
水曜 2 限・木曜 2 限・金曜 2 限
kotake-h@sano-c.ac.jp soudan@sano-c.ac.jp

小竹 利夫 先生
(臨床発達心理士)
月曜 5 限
研究室は講義棟 2 階です
kotake-t@sano-c.ac.jp

※授業と重なる場合、相談の時間は調整します。
※メールでの相談も受け付けています。

V. 相談申し込み方法

- 1)、2) いずれかの方法で申し込んでください。
- 1) 学生相談室か保健室、または上記の先生の研究室を訪ねて申し込む。
- 2) メールまたは学生相談室直通電話 (TEL 050-3116-1869) で申し込む。

VI. おわりに

クラス担任の先生や学生支援課の職員の他に、以下の学生支援委員の先生方も皆さんの心の支えになって下さいます。大室精一先生・亀田和則先生・小林大輔先生・新井文子先生・松崎勇人先生・高木公子先生。

(2014 年 4 月 1 日 学生相談室)

授業時間

時 限	開 始	終 了
1	9:00	10:30
2	10:40	12:10
昼休み	12:10	12:50
3	12:50	14:20
4	14:30	16:00
5	16:10	17:40
(6)	17:50	19:20

※なお、夏季・春季の休み中に、集中授業や実習が行われます。

静和カレッジバス時刻予定表

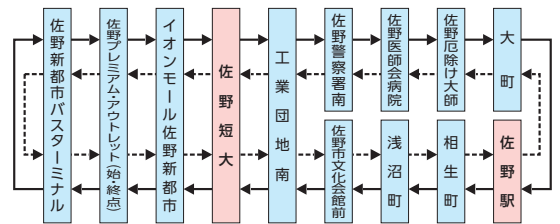
	東武日光線 静和駅発	大学発
月～金	8:32	10:45
	10:00	12:15
	11:30	13:30
	12:35	14:40
	14:00	16:10
	15:15	17:50

※土曜日は運休となります。

※6時限目の帰りは「佐野万葉浪漫バス」と、JR 線経由で帰宅するようにお願いします。

佐野万葉浪漫バス時刻表

お問合せ:関東自動車 佐野営業所 TEL0283-22-5311 平成26年3月15日改正



【佐野駅】発車予定時刻表

右回り→	時刻	左回り←	時刻
相生町→佐野市文化会館→アウトレット方面行	平日 土・日・祝	佐野回線大師→佐野警察署→アウトレット方面行	平日 土・日・祝
58	—	7	—
15.36	(36)	8	—
33	33	9	06
39	39	10	01
27	27	11	04.59
41	41	12	03
39	39	13	04.59
38	38	14	—
18	18	15	06.42
27	27	16	—
18	23	17	00.50
—	—	18	19
—	—	19	—
—	—	20	—

【佐野短大】通過予定時刻表

右回り→	時刻	左回り←	時刻
佐野警察署→佐野回線大師→佐野文化会館→相生町→佐野駅方面行	平日 土・日・祝	佐野文化会館→相生町→佐野駅方面行	平日 土・日・祝
—	—	7	—
—	—	8	49
16	16	9	41
22	22	10	41
09	09	11	36
21	21	12	41
16	16	13	42
21	21	14	42
01	01	15	25
05.56	05.56	16	36
—	—	17	33.58
—	—	18	07.33
—	—	19	09
—	—	20	21

()は、土曜日のみ運行

駅印は佐野駅止まり

学報編集委員

穂積 元、岡泉志のぶ、阿部芳子、小竹利夫、久保由佳、増山結子、板谷美友希、飯塚則章、大橋義成、齋藤 彩